

ダイキンでは、報告内容に対する信頼性の確保のために、温室効果ガス排出量と水使用量、排水量、廃棄物排出量、化学物質排出量について、ビューローベリタスジャパン株式会社による第三者検証を受けました。

■ 検証の対象

2018年度の事業活動に伴う環境負荷データ

- ▶ダイキン工業の生産事業所4拠点、国内生産子会社8社、海外生産子会社47社の事業活動に伴う、スコープ1およびスコープ2温室効果ガス排出量、水使用量、排水量、廃棄物排出量、化学物質排出量
- ▶GHG Protocol Corporate Value Chain (Scope3) Accounting and Reporting Standardにもとづいて算定されたスコープ3排出量のうち、カテゴリ 1 (調達)、11 (製品の使用)、12 (製品の廃棄) の排出量

■ レビューの対象

販売した製品による温室効果ガス排出抑制貢献量

- ▶新興国におけるインバータエアコン(2018年度販売分)の使用に伴うCO₂排出抑制貢献量
- ▶先進国および中国で2018年度に販売したエアコンの使用に伴うCO₂排出抑制貢献量
- ▶全世界で2018年度に販売したエアコンの低温暖化冷媒R32への切り替えによる温室効果ガス排出抑制貢献量

独立保証報告書

ダイキン工業株式会社 殿

ビューローベリタスジャパン株式会社(以下、ビューローベリタス)は、ダイキン工業株式会社(以下、ダイキン工業)の委嘱に基づき、ダイキン工業によって算定されたサステナビリティ情報に対して限定的保証業務及びレビュー業務を実施した。この保証報告書は、以下に示す業務範囲内に含まれる関連情報に適用される。

限定情報
限定的保証業務における我々の業務範囲は、「ダイキングループ サステナビリティレポート 2019」(以下、レポート)に記載された、又は内部管理を目的としてダイキングループの内部で報告された、2018年4月1日から2019年3月31日までの期間内、以下の情報(「限定情報」)に対する保証に限定される。

- ダイキン工業株式会社(以下、ダイキン工業)の生産事業所4拠点、国内生産子会社8社、海外生産子会社47社の事業活動に伴う以下のデータ
 - エネルギー総量 CO₂ 排出量
 - HFC 及び PFC 排出量
 - 取水量及び排水量
 - 廃棄物総量(重量)及び排出量
 - VOC 排出量
- ダイキン工業株式会社の生産事業所4拠点、国内生産子会社8社の事業活動に伴う PRTR 対象化学物質排出量
- ダイキン工業株式会社の生産事業所4拠点の事業活動に伴う以下のデータ
 - 非ハルオン-123 CO₂ 排出量
 - CH₄, N₂O, SF₆ 及び NF₃ 排出量
- GHG Protocol Corporate Value Chain (Scope3) Accounting and Reporting Standard に基づいて算定されたスコープ3排出量のうち、カテゴリ1, 11, 12の排出量

レビュー業務における我々の業務範囲は、「ダイキングループ サステナビリティレポート 2019」(以下、レポート)に記載された、又は内部管理を目的としてダイキングループの内部で報告された、2018年4月1日から2019年3月31日までの期間内、以下の情報(「限定情報」)についての保証に限定される。

- 新興国におけるインバータエアコン(2018年度販売分)の使用に伴うCO₂排出抑制貢献量
- 先進国及び中国で2018年度に販売したエアコンの使用に伴うCO₂排出抑制貢献量
- 2018年度に販売したエアコンの低温暖化冷媒(R32)への切り替えによる温室効果ガス排出抑制貢献量

報告範囲
レポートに含まれる限定情報は、レポートに記載された報告規程と共に読まれ理解される必要がある。内部管理を目的としてダイキングループの内部で報告された限定情報は、ダイキン工業によって算定された内部報告規程と共に読まれ理解される必要がある。

限定と除外
以下に関する情報のうち、我々の業務範囲からは除外される。
 ・定られた保証期間外のその他の活動
 ・「限定情報」として挙げられていない、レポート内の他の情報
 限定的保証は、リストに基づいて選択されたサステナビリティデータのサンプルと、これに伴う限界に依拠している。この独立保証報告書は、存在するかもしれないすべての誤り、欠陥、虚偽報告を排除するための根拠とされるべきではない。

責任
レポート内の限定情報の作成と提示は、ダイキン工業の責任である。ビューローベリタス又は報告規程の作成に関与していない。我々の責任は、以下の通りである。
 ・保証業務の実施により、限定情報が報告規程に準拠して作成されたかどうかについて、限定的保証を行うこと
 ・レビュー業務の実施により、限定情報の信頼性及び正確性について評価を行うこと
 ・実施した手続きと入手した証拠に基づいて、独立した結論を形成すること
 ・我々の結論をダイキン工業に報告すること

評価基準
我々は、International Standard on Assurance Engagements (ISAE) 3000 (Revised), Assurance Engagements Other than Audits or Reviews of Historical Financial Information (Effective for assurance reports dated on or after December 15, 2015) 及び ISO14064-3:2009 Greenhouse gases - Part 3: Specification with guidance for the validation and verification of greenhouse gas assertions に準拠して保証業務を実施した。
 我々は、ビューローベリタスが定めるサステナビリティ報告に対する第三者レビューの手続きを用いて、レビュー業務を実施した。

実施した業務の範囲
我々の独立した検証の一環として、我々の業務には以下が含まれる。
 1. ダイキン工業の排出量データの監査
 2. 用いられた想定を含む、選択された情報を主たるために使用されたデータの収集及び集計プロセス、データの対象範囲及び報告範囲の確認

3. ダイキン工業によって提供された文書による証拠の確認
 4. 定量的なデータの集計と分析のためのダイキン工業のシステムの確認
 5. リスクに基づいて選定された以下のリスク箇所でのサステナビリティ情報による、データの漏洩を避けるためのサンプルの検証

- ・ダイキン工業 本社
- ・ダイキン工業 鹿児島製作所
- ・大金電機(株)有限会社
- ・大金電機(株)福岡)有限会社
- ・DaiKin Industries Czech Republic s.r.o.
- ・DaiKin Device Czech Republic s.r.o.
- ・DaiKin Industries (Thailand) Ltd.
- ・DaiKin Airconditioning (Thailand) Ltd.
- ・DaiKin Compressor Industries Ltd.

6. 限定情報についての集計計算の再実施
 7. 業務活動の変化、買収及び譲渡を考慮した、限定情報の前年値に対する比較

限定的保証業務で実施される手続は、合理的保証業務よりもその種類と頻度が多種多様であり、その範囲が狭い。その結果、限定的保証業務で得られる保証の本質は、合理的保証業務が実施されていたら得られたであろう保証よりも、格段に低い。

検証された温室効果ガス排出量
 我々は、ISO14064-3:2009の要求事項に従って、温室効果ガスの検証を実施した。
 ダイキン工業は、我々の業務の対価範囲における定量的なデータについて、収集・集計・分析のための適切な仕組みを構築していると考えられる。

スコープ	温室効果ガス排出量 [tCO ₂ e]	算定範囲
スコープ1	699,625	・ダイキン工業の生産事業所4拠点、国内生産子会社8社、海外生産子会社47社の事業活動に伴うエネルギー総量 CO ₂ 、HFC、PFC 排出量
スコープ2 (1) (カーボン・フットプリント)	728,753	・ダイキン工業の生産事業所4拠点の事業活動に伴うエネルギー総量 CO ₂ 、CH ₄ 、N ₂ O、SF ₆ 、NF ₃ 排出量
スコープ2 (2) (カーボン・フットプリント)	615,988	
スコープ3 (1) (カーボン・フットプリント)	330,390,125	GHG Protocol Corporate Value Chain (Scope3) Accounting and Reporting Standard に基づいて算定及び報告されたスコープ3排出量のうち、カテゴリ1, 11, 12の排出量。但し、各カテゴリにおける算定範囲は、ダイキン工業の決定に基づく。

スコープ3 排出量の内訳は以下の通り。
 カテゴリ1: 2,982,874 tCO₂e | カテゴリ11: 296,781,998 tCO₂e | カテゴリ12: 30,628,253 tCO₂e

結論
 上述した我々の方法と活動に基づき、
 ・限定情報が、報告規程に従って適切に作成されていることを示す事項は、すべての重要な点において認められた。
 ・ダイキン工業は、我々の業務の対価範囲における定量的なデータについて、収集・集計・分析のための適切な仕組みを構築していると考えられる。

独立性、健全性及び能力の表明
 ビューローベリタスは、190年以上の歴史を有する、品質・信頼・継続・安全・社会的責任に特化した独立した専門サービス会社である。保証チームは、環境・社会・倫理・健康及び安全の専門システム・プロセスに対する検証の実施において、経験とスキルを有している。
 ビューローベリタスは、ISO9001:2015の要求事項に適合する認証された品質管理システムを適用しており、従って厳格的な要求事項、専門的な法律及び倫理規範と同等の厳格な要求事項への適合に関する重要な方針や手順を有し、品質管理の包括的なシステムを維持している。
 ビューローベリタスは、従業員が日々の業務活動において、誠実性、客観性、専門的な能力と配慮、機密保持、専門家としての態度、及び高い倫理標準を維持することを確保するために、国際倫理規範(IETI)の要求事項を満たす管理規程を、業務全体に対して実施・適用している。

ビューローベリタスジャパン株式会社
 横浜市南区日本大通18番地
 2019年6月28日

環境パフォーマンスデータの算定方法は、『CSR・環境への取り組み』WEBサイト(2019年9月更新予定)に掲載します。

■ レポートの編集方針

本レポートはダイキンの持続可能(サステナブル)な成長に向けた基本的な考えと2018年度の実績、今後の計画を報告するものです。2015年度に「FUSION20」の策定に合わせて、企業と社会双方の持続可能な発展に向けたCSRの重点テーマを、「価値提供」の4テーマ(環境、新価値創造、顧客満足、人材)と「基盤」の5テーマ(コーポレート・ガバナンス、人権の尊重、サプライチェーン・マネジメント、ステークホルダー・エンゲージメント、地域社会)とに決めました。

レポートは、冊子とWEBサイトの2つの媒体で構成しています。冊子は、ダイキンのサステナブルな社会に向けた戦略と、「価値提供のCSR」の4テーマ、そのベースとなる「基盤的CSR」の5テーマのうち重要な情報を中心に編集しています。

特に記載のない場合はダイキングループ全体の実績を示しています。

WEBサイトには詳細なデータや過去の事例などについても掲載しています。

【CSR・環境への取り組み】 WEBサイト



<https://www.daikin.co.jp/csr/>

【株主・投資家情報】 WEBサイト



<https://www.daikin.co.jp/investor/>

▲
最新の財務情報、アニュアルレポートなど
IR資料はこちらをご覧ください。

参考にしたスタンダード:

GRI(Global Reporting Initiative)の「GRIスタンダード2016」を参照し、本レポートを作成しました。ガイドライン対照表はWEBサイトに掲載しています。また、活動にあたってはISO26000も踏まえています。

2008年10月にダイキン工業は、国連が提唱する「グローバル・コンパクト」に署名しました。「人権」「労働」「環境」「腐敗防止」の10原則を支持し、その実践に努めるとともに、国連にサステナビリティレポートをCOP(Communication on Progress)として提出しています。

第三者検証:

報告内容に対する信頼性の確保のために、温室効果ガス排出量と水使用量、排水量、廃棄物排出量、化学物質排出量について第三者検証を受けました。(P51参照)

報告対象組織:

ダイキン工業およびその連結子会社を報告対象としています。ただし、環境パフォーマンスデータの集計範囲はダイキン工業の生産事業所4拠点と、国内生産子会社8社、海外生産子会社47社としています。(社名などは当社WEBサイトをご覧ください)

報告対象期間:

2018年4月1日~2019年3月31日

発行日:

2019年7月発行。次回予定は2020年7月。

お問い合わせ先:

ダイキン工業株式会社 CSR・地球環境センター
TEL (06)6374-9304 FAX (06)6374-9321
E-mail csr@daikin.co.jp

ご注意

2018年度の活動を報告するにあたり、データを精査、これを修正した結果、2017年度の報告書と実績数値が異なっている項目があります。また、端数処理のため、合計が合わない項目があります。

将来に関する予測・予想・計画について

本レポートには、「ダイキン工業株式会社とその連結子会社」(ダイキングループ)の将来に関する予測・予想・計画なども記載しています。これらは、記述した時点で入手できた情報にもとづいた仮定ないし判断であり、不確実性が含まれています。従って、将来の事業活動の結果や将来に惹起する事象が本レポートに記載した予測・予想・計画とは異なったものとなる可能性があります。